



筑波大学 CEGLOC

日本語・日本事情遠隔教育拠点 主催



第6回

日本語教育とICT活用を考える

<ツール編>

<ツール編>では、コンテンツの開発者などを講師としてお招きし、一部機能などに特化してコンテンツがすぐに使えるようになることをめざしたワークショップ等を行います。

寺嶋 弘道 (立命館アジア太平洋大学)

コーパスツールの活用を考える
—どのように学習者に使ってもらおうか—



コーパスツールとは、大規模なテキストの中から特定の言葉を分析するためのツールです。このワークショップでは、少納言やNINJAL-LWP for TWCといったコーパスツールの機能や使い方を紹介するとともに、学習者にどのように使ってもらえばいいかを一緒に考えたいと思います。また、NINJAL-LWP for TWCを授業で導入する時に役立つウェブサイトを紹介します。

日時：2023年7月27日(木) 14時~16時

開催方法：オンライン (Zoom ミーティング形式)
ブレイクアウトルームによるグループワークを行います。

定員：50名(抽選) 参加費：無料

参加申込：<https://forms.gle/5L7fX75bvU5aZ89>

抽選の結果につきましては、7月12日(水)を目処にメールにてお知らせいたします。
参加者には開催2日前までにZoomのリンクをお送りいたします。
参加者多数の場合はお申し込みを制限する場合がございます。

お問い合わせ先：jp-kyoten@un.tsukuba.ac.jp  [jp_kyoten](https://twitter.com/jp_kyoten)



<参加申込>



<拠点HP>



筑波大学CEGLOC日本語・日本事情遠隔教育拠点では、
<理念編>：じっくり考える講演会、<ツール編>：すぐに使えるコンテンツワークショップ
を目的として今後も開催を計画しております。皆様のご参加、お待ちしております。